**1 江國香織『雪の日の愉しみ』**

＊ユトリロの絵に、「雪の積もった村の通り」というのがある。全体が灰色がかったオレンジ色で、ところどころに小さく、あかるい赤が使われている。それはまさに「村の通り」で、雪道は点々と黒い足跡でⓐヨゴれ、そこを歩く村人たちの後ろ姿も描かれている。ユトリロというと、くすんだ青やしい白の、なパリの街角ばかりを思い出してしまうけれど、この絵は全然そういうふうじゃない。決してⓑ派手ではないのだけれど、どこかふわっとあかるいのだ。①雪の日のあたたかさがよくでていて、私はユトリロの絵のなかで、たぶんこれがいちばん好きだ。

雪の日のあたたかさ、というのは奇妙な気もするが、どう考えてもあたたかさとしか言い様のない何か（　Ａ　）が、雪の日には絶対にあると思う。

一つには町の様子だ。雪は町をいきいきさせる。白く積もることで建物の色を際立たせるし、＊エクストラの仕事（　Ｂ　）を運んでくることで、歩いている人の表情までいきいきさせる。生活がにぎやかになるのだ。それも、お祭りめくのじゃなくて、もっと保守的に、もっと質実に。

もう一つには、想像の中のあたたかさがある。つめたい風の中、雪を踏みしめて歩きながら、みんな心の中では一様に、帰る場所のことを思っている。ストーブのきいたⓒ部屋のいや、うっとうしく重い服を全部ぬぎ、ゆったりと手足をのばしてつかるバスタブ、熱いスープや幸福な＊おこたや、待っている人の顔―②そういうものを一つひとつ熱心に想像しながら歩いているのだ（　Ｃ　）。

それにしても、想像するというのはすごいことだなと思う。体の外側はおそろしく寒いのに、一人ひとりが内側にあたたかい光景を抱いているというだけで、雪の日の空気全体が、特別なあたたかさを持ってしまう。それはまったく驚くべきことで、なんとも素敵なことである。

雪が降ると、私と妹は小さな子供のようにはしゃいでしまう。積もれ積もれと一心に祈り、積もったとなるととして重装備（　Ｄ　）に身を固め、朝食もそこそこにおもてに出る。弟分の黒犬ギャバンも、もちろん一緒だ。

私たちはまず、まっさらの雪の上にばたんと倒れ、大の字に人型を抜いて遊ぶ。これは、私たちのあいだでは「ジンジャーボーイクッキー」と呼ばれている遊びだ。起きあがる時に、抜いた型の上に上手に立ち、まわりに足跡をつけずに人型だけをつなげていく。途中で③近所の人に会ってしまうときまりが悪いのだけれど、さふさふの雪の上に倒れこむ瞬間の、不思議なⓓコウフンはやみつきになる（　Ｅ　）。

語注

ユトリロ＝フランスの画家。

エクストラ＝決められたこと以外のこと。

おこた＝こたつ。

問1　二重傍線部ⓐ〜ⓓのカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えよ。（3点×4）

ⓐ〔　　　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　　　〕

ⓒ〔　　　　　　　〕　ⓓ〔　　　　　　　〕

問2　次のア〜ウの文は本文中の（Ａ）〜（Ｅ）のどこに入れたらよいか。それぞれ記号で答えよ。（4点×3）

ア　（私個人について言えば、想像するもののリストに、ぜひこれをつけ加えなくてはならない。暖かい部屋で食べるアイスクリーム！）

イ　（古いオーバーに黒い大きなゴム長靴、襟巻をぐるぐるまきにした上に、オーバーのフードもちゃんとかぶる）

ウ　（毛布をもっとだしておかなきゃ。お鍋の材料を買いに行かなきゃ。玄関前の雪だけでもかいておかなきゃ）

ア〔　　　〕　イ〔　　　〕　ウ〔　　　〕

問3　傍線部①「雪の日のあたたかさ」を感じるのはなぜか。次の説明文に入る語句として、○内の字数で本文中から抜き出せ。（4点×4）

一つには、雪が町や人の表情を〔　ア　⑦　　〕とともに生活が〔　イ　⑦　　〕からであり、もう一つは人々が〔　ウ　⑤　　〕光景を〔　エ　④　　〕からである。

ア〔　　　　　　　　　　〕

イ〔　　　　　　　　　　〕

ウ〔　　　　　　　　　　〕

エ〔　　　　　　　　　　〕

問4　傍線部②「そういうもの」が指す内容はどこからどこまでか。本文中から最初と最後の四字を抜き出せ。（完答で4点）

〔　　　　　　　　〕〜〔　　　　　　　　〕

問5　傍線部③「近所の人に会ってしまうときまりが悪い」のはなぜか。本文中の語を用いて二十字以内で説明せよ。（6点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

練習問題〈熟語の成り立ち〉

次の熟語の成り立ちを例にならって答えよ。

　例　空席（空いた席）

①　急流（　　　　　　　　　　　）

②　雷鳴（　　　　　が　　　　　）

③　握手（　　　　　を　　　　　）

④　森林（　　　　　と　　　　　）

⑤　無限（　　　　　　　　　　　）

【解答】

問1　ⓐ　汚（れ）　　ⓑ　はで　　ⓒ　へや　　ⓓ　興奮

問2　ア＝C　　イ＝D　　ウ＝B

問3　ア＝いきいきさせる　　イ＝にぎやかになる　　ウ＝あたたかい

エ＝想像する

問4　ストーブ〜る人の顔

問5　小さな子供のようにはしゃいでしまうから。（20字）

【練習問題解答】

①急な流れ　②雷（が）鳴る　③手（を）握る　④森（と）林　⑤限り無い

【50字要約例】

雪の日は、町をいきいきさせるとともに、一人ひとりが想像の中にあたたかさを感じることができる。（46字）

▼補充設問▲

（本文18行目の「素敵」を空欄にして）

問　空欄に入る語句として、最も適当なものを次から選べ。

ア　意外　　イ　奇怪　　ウ　微妙　　エ　素敵

答え　エ

（本文20行目「朝食もそこそこにおもてに出る」に傍線を施し）

問　傍線部「朝食もそこそこにおもてに出る」とあるが、ここから読み取れる筆者の説明として、最も適当なものを次から選べ。

ア　美しい雪景色に浸ろうとしている。

イ　雪の朝の忙しさにせかされている。

ウ　早く遊びたくてうずうずしている。

エ　いつもと違う朝を落ち着いて楽しんでいる。

答え　ウ